

授業科目	アジア観光文化地理 II					単位	2			
履修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21809J			
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP5-2					
担当教員	劉 明									
授業概要	<p>地球規模の大交流時代の到来により、アジアの国と地域を中心に訪日外国旅行者が大幅に増加している。「アジア観光文化地理 II」では、映像(教育)を通して、学生たちに東アジア以外の国・地域の地域性や風土人情及び観光資源を認識・理解してもらうことを目標に、授業を進める。</p> <p>また、海外旅行を通して観光文化地理を研究したいという学生のニーズにより、海外(アジア)旅行の情報提供や調査方法の指導も行う。さらに、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。</p> <p>対面授業で実施する。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. アジア諸国の地域性や風土人情を把握することができる。 2. アジア諸国の観光資源を認識することができる。 3. 海外(アジア)旅行の情報を把握することができる。 4. 海外での観光文化地理の調査方法を把握することができる。 									
達成度評価										
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)			30		20	10	60			
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度(DP4-1)										
態度(DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)			20		10	10	40			
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル	標準的なレベル									
示されている4つの到達目標を達成することができると同時に、習得した知識を研究や観光フィールドワークに反映させることができる。	示されている4つの到達目標を達成することができる。									
授業計画										
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)				
1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。	講義	該当部分の復習			30				

2	テーマ:フィリピンの観光文化地理 フィリピンの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
3	テーマ:モンゴルの観光文化地理 モンゴルの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
4	テーマ:ベトナムの観光文化地理 ベトナムの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
5	テーマ:カンボジアの観光文化地理 カンボジアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
6	テーマ:ラオスの観光文化地理 ラオスの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
7	テーマ:グループディスカッション グループディスカッションで学生同士の交流を行う。	講義	該当部分の復習	60
8	テーマ:シンガポールの観光文化地理 シンガポールの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
9	テーマ:マレーシアの観光文化地理 マレーシアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
10	テーマ:タイの観光文化地理 タイの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
11	テーマ:インドネシアの観光文化地理 インドネシアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
12	テーマ:インドの観光文化地理 インドの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
13	テーマ:ミャンマーの観光文化地理 ミャンマーの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
14	テーマ:グループディスカッション グループディスカッションで学生同士の交流を行う。	講義	総復習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「アジア観光文化地理 II」を学ぶ意義を理解しておくこと。			
テキスト	資料を配布する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『旅行業実務シリーズ 海外観光資源』(株)JTB総合研究所編集発行			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	①アジアの国・地域に関する新聞記事をよく読むこと。 ②留学生との交流に励むこと。 ③少しでも長く勉強を続けること。 ④よく質問すること。			
達成度評価に関するコメント	1. 文化と地理の意味を理解すること。 2. アジアが成長していることを再認識すること。 3. 「その他」とは、授業態度で評価するということである。			

